

<金標準、買われ過ぎた動きに警戒ムード・・・>



(出所：オアシス)

トランプ元大統領が遊説先で銃撃未遂を受け、一躍ヒーロー扱いになると11月の大統領選ではトランプ有利な市場感が強まりを見せている。特にFRBは、最近の経済指標の景気抑制の内容を受け、早期の利下げ観測が高まりを示すと政治や経済の不確実性の高まりも重なるなど、NY金は2483.7ドルまで上昇するなど史上最高値を更新している。

しかしTDセキュリティーズの調べによると上海先物取引所の上位参加者のポジショニングを追跡したところ、一夜にしてかなりのポジションが手仕舞いされ、現物市場でもアジアの買い手が手控えていることが分かるなど、商品投資顧問業者（CTA）は向こう数営業日において売りに動く可能性が高く、ポジショニングのリスクは数ヶ月ぶりに非対称な形で下方に傾いていると指摘している。そのため金標準先物も12679円まで高値を追いながら、週末には12165円まで下げるなど、高値から500円以上下落を行うなどボラティリティが高くなっている。そのため今週は12000円を試す動きに注意が必要と思われる。

<テクニカル>

金標準先物の日足のMACDでは、MACDが下げながら、シグナルも切り下げている。RCIでも短期が下げながら、長期も切り下げている。特に日足が10日移動平均線（12362円）を下回るなど目先は40日移動平均線の12011円へ向けた値動きに思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,530,000 円(2024 年 7 月 22 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 71,280 円(2024 年 7 月 22 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>